

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2006年4月28日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的にインドおよび中国の株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 インド株マザーファンド アムンディ・ファンズ・エスピーアイ・エフエム・インディア・エクイティ（Q I-6クラス） 中国利回り株アルファ・マザーファンド 中国の取引所（上海、深センおよび香港等）に上場している株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■インドおよび中国の取引所に上場している株式に投資し、信託財産の成長を目指します。 ■インド株と中国株の実質投資割合は、概ね同程度とします。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への直接投資は行いません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 インド株マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への直接投資は行いません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 中国利回り株アルファ・マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年2回（原則として毎年4月および10月の15日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の、繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

三井住友・ インド・中国株 オープン

【運用報告書(全体版)】

(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

第 **31** 期

決算日 2021年10月15日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的にインドおよび中国の株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。

当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
 受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

三井住友・インド・中国株オープン

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)	騰落率	株式組入率	投資信託証券組入率	純資産額
	(分配落)	税金込 分配金	騰落率					
27期 (2019年10月15日)	円 10,420	円 0	% △6.5	215.51	% △11.3	% 46.6	% 48.8	百万円 2,815
28期 (2020年4月15日)	9,147	0	△12.2	191.39	△11.2	48.9	45.1	2,318
29期 (2020年10月15日)	11,178	500	27.7	252.11	31.7	47.3	49.5	2,725
30期 (2021年4月15日)	11,028	2,100	17.4	292.73	16.1	45.8	46.9	2,463
31期 (2021年10月15日)	11,367	600	8.5	318.15	8.7	42.2	49.4	2,553

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、MSCI インディア 10/40 インデックス (円ベース) およびMSCI チャイナインデックス (円ベース) を50:50の割合で組み合わせた合成指数で、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、外国の指数については基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数を構成する各指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数)	騰落率	株式組入率	投資信託証券組入率
	騰落率	騰落率				
(期首) 2021年4月15日	円 11,028	% —	292.73	% —	% 45.8	% 46.9
4月末	11,284	2.3	300.87	2.8	45.2	48.5
5月末	11,557	4.8	308.71	5.5	44.6	50.9
6月末	11,694	6.0	314.57	7.5	43.8	49.9
7月末	11,052	0.2	291.35	△0.5	38.5	54.6
8月末	11,322	2.7	299.20	2.2	37.7	52.1
9月末	11,608	5.3	303.75	3.8	39.5	52.9
(期末) 2021年10月15日	11,967	8.5	318.15	8.7	42.2	49.4

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

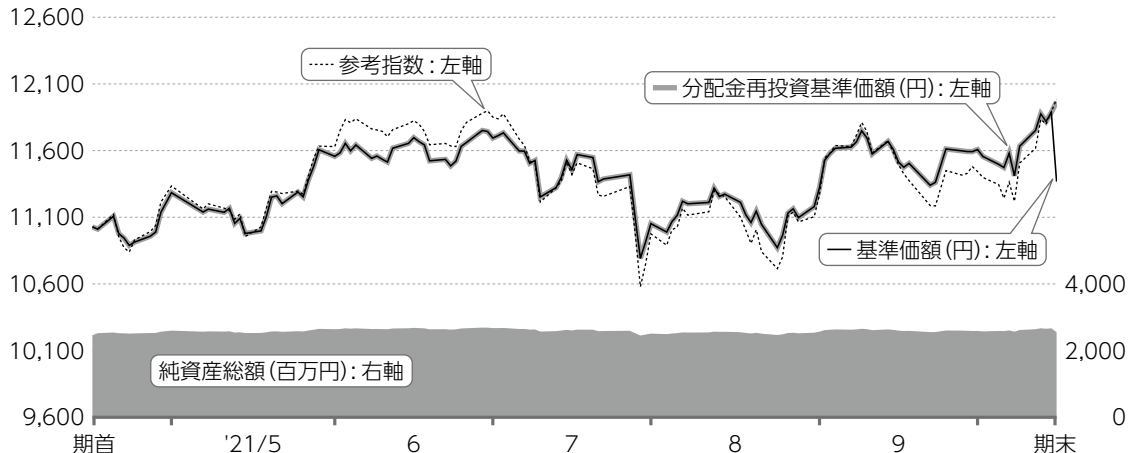
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	11,028円
期末	11,367円 (既払分配金600円(税引前))
騰落率	+8.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCI インディア 10/40 インデックス(円ベース)およびMSCI チャイナインデックス(円ベース)を50:50の割合で組み合わせた合成指数です。

※参考指数を構成する各指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的にインドおよび中国の株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 5月中旬以降、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少やワクチン接種ペースの改善で経済正常化期待が強まり、インド株式市場が上昇したこと
- 通期でインドルピー高・円安、香港ドル高・円安が進んだこと

下落要因

- 7月に入り、中国当局による配車サービス大手や学習塾業界に対する規制強化などをきっかけに、幅広い分野で政府介入が強まることへの警戒感が高まり、香港株式市場が下落したこと
- 9月以降、不動産開発大手の債務問題や金融システムに対する不安、電力の供給制限による企業活動落ち込みへの懸念などから、香港株式市場が軟調となったこと

投資環境について(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

インド株式市場は上昇、香港株式市場は下落しました。為替市場は、インドルピー高・円安、香港ドル高・円安となりました。

インド株式市場

期初は、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したことから、軟調な展開となりました。5月中旬以降は、ロックダウン(都市封鎖)やワクチン接種の進展などを受け、新規感染者数が減少に転じたことなどから、上昇基調となりました。

インフレに関しては、降雨量の減少や原油価格の上昇などから懸念が高まる局面があったものの、CPI(消費者物価指数)上昇率は政府目標の範囲内に落ち着きました。インフレ懸念は後退し、緩和的な金融政策の継続期待や、経済・企業活動の正常化期待などから引き続き上昇しました。

こうした動きの結果、期間のインド株式市場は大幅上昇となりました。

香港株式市場

香港株式市場は、期初から6月までは一定のレンジ内で一進一退の値動きとなりました。しかし、7月に入り、中国当局が配車サービス大手D i D i(滴滴出行)に対し国家安全上の理由で審査を始めたことや、

学習塾業界に対する規制強化が発表されたことをきっかけに、幅広い分野で政府介入が強まることへの警戒感が高まり、市場は下落しました。

また、9月以降は、不動産開発大手「中国恒大集団(エバーgrande)」の債務問題に端を発する不動産市場全般や金融システムに対する不安、電力の供給制限による企業活動への悪影響など複数の悪材料が重なり、投資家のリスク回避姿勢が強まりました。

為替市場

●インドルピー・円

期間の米ドル・インドルピーの動きは、概ねレンジでの値動きとなりました。米国のテーパリング(量的緩和の段階的縮小)など金融緩和策からの転換が想定される中、期末にかけては米ドル高・インドルピー安となりました。

米ドル・円の動きも概ね似たような動きとなりましたが、期末にかけて米ドル高・円安が進行し、期を通してみれば、米ドル高・円安となりました。

結果として期間のインドルピー・円の動

きは、インドルピー高・円安となりました。

●香港ドル・円

米ドル・円は、通期では米ドル高・円安となりました。期初から9月中旬までは、1米ドル=110円近辺での落ち着いた推移となりました。しかし、9月下旬以降は、原

油など商品価格の上昇を背景とした米国金利の上昇や、日本の貿易収支の悪化観測などから期末にかけて米ドル高・円安が進みました。

香港ドル・円は、概ね米ドル・円に沿った動きとなり、通期では香港ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

当ファンド

「インド株マザーファンド」と「中国利回り株アルファ・マザーファンド」を通じた運用を行いました。両マザーファンドの投資割合は、期を通して概ね同程度を維持し、期末の各マザーファンドへの配分は、「インド株マザーファンド」48.8%、「中国利回り株アルファ・マザーファンド」48.4%としました。

インド株マザーファンド

「アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インドシア・エクイティ(Q1-6クラス)」を高位に組み入れた運用を行いました。

(アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インドシア・エクイティ(Q1-6クラス))

投資行動としては個別銘柄選択の結果として、セクター別では金融、素材、資本財・サービス等のウェイトを引き上げる一方、一般消費財・サービス、情報技術、ヘルスケア等のウェイトを引き下げました。個別では、ケムプラスト・サンマー、ヒンダルコ・インダストリーズ、SRF、Vガード・インダストリーズ等を新規で組み入れる一方、マルチ・スズキ・インドシア、クロンプトン・グリーブス・コンシューマー・エレクトリカルズ、バーラト・フォージ、インフォ・エッジを売却しました。

中国利回り株アルファ・マザーファンド

●株式組入比率

株式組入比率(投資信託証券を含む)は、期間を通じて概ね高位の水準を維持しました。

●個別銘柄

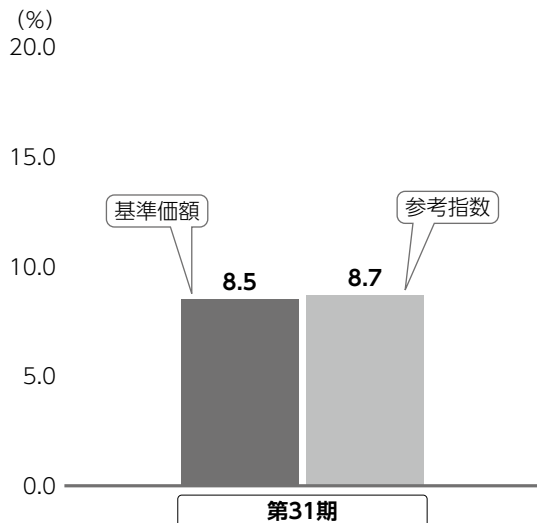
引き続き、配当利回りや成長性、流動性等を考慮した運用を行いました。

期間中は、規制強化による事業継続リスクの高まりを受けて、新東方教育科技(消費

者サービス)やアリババ・グループ・ホールディング(小売)、カントリー・ガーデン・サービス(不動産)などを売却する一方で、メルセデスベンツやレクサス、BMWなど高級車の販売を中心に業績堅調なチョンサン・グループ・ホールディングス(小売)を新たに組み入れました。また、ITベンダー大手でクラウドコンピューティングやネットワークセキュリティ分野に強みを持つ深信服(ソフトウェア・サービス)の新規組入れも行いました。

ベンチマークとの差異について(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIインド・インド 10/40 インデックス(円ベース)およびMSCIチャイナインデックス(円ベース)を各マザーファンドの基本配分比率であるインド：中国=50%：50%の割合で組み合わせ合わせた合成指数を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第31期
当期分配金	600
(対基準価額比率)	(5.01%)
当期の収益	600
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,838

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「インド株マザーファンド」および「中国利回り株アルファ・マザーファンド」を通じて運用を行います。両マザーファンドへの投資割合は概ね同程度とします。

実質株式組入比率は、インド株式市場および中国株式市場の成長を捉えるために、高位に維持します。

インド株マザーファンド

「アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インディア・エクイティ(Q1-6クラス)」を高位に組み入れた運用を行います。

(アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インディア・エクイティ(Q1-6クラス))

新興国株式は、インフレ懸念や、米国のテーパリングなど金融政策の変更、中国のテクノロジー、不動産および電力セクターに関する問題などの要因を背景に、足元で苦戦しています。

一方で、インド株式は新興国株式を引き続きアウトパフォームし、その結果、バリュエーション(投資価値評価)で比較すると割高感が出てきています。インド株式市場がさらに上昇するためには、企業収益の回復が不可欠になっています。当ファンドでは、今後の企業収益の見通しに対して、楽観的な見方をしています。足元の状況は、

経済の正常化に伴う収益の拡大サイクルの初期段階にあると考えており、長期的な見通しに対し引き続き前向きです。短期的なリスクは投資家心理が過熱しているようにみられることで、利益確定売りなどによる調整の可能性もありますが、その場合は景気敏感セクターなどを買い増しする好機であると考えています。

中国利回り株アルファ・マザーファンド

中国では電力の供給制限の影響などもあり、経済活動が短期的に鈍化している一方、

新型コロナ対策は徹底されており、引き続き中期的には社会・経済活動の正常化が見込まれます。中国企業の業績はこれまで急回復を見せた後、足もとでは下方修正も増えており、株式市場は短期的に上値の重い動きとなりそうです。しかしながら今後半年から1年といった時間軸で見れば、企業業績の増益は維持されると予想しており、それに沿った株価の上昇を見込みます。

今後の運用方針としましては、引き続き、配当利回りや成長性、流動性等を考慮しつつ、厳選投資する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	92円	0.805%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は11,384円です。
(投信会社)	(36)	(0.320)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(50)	(0.441)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.036	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株式)	(4)	(0.035)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	2	0.014	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株式)	(2)	(0.014)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.044	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.024)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.020)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	102	0.899	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

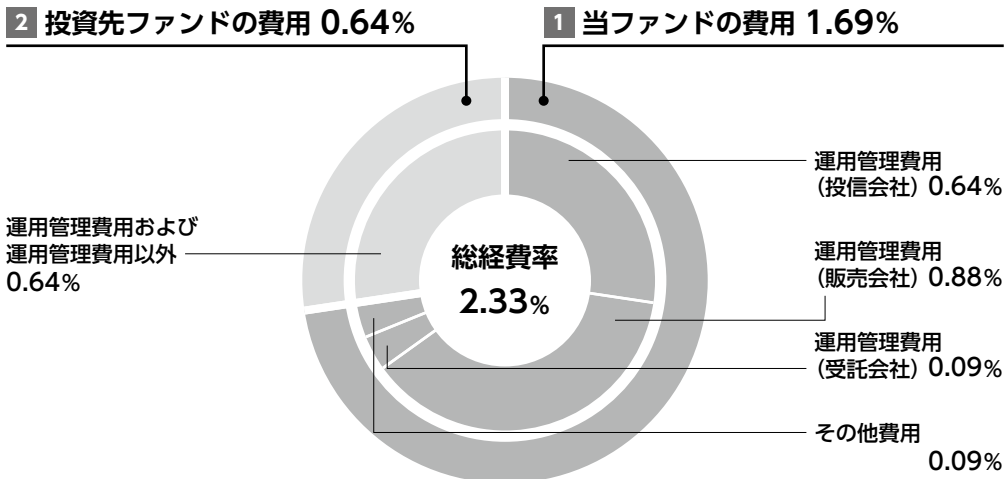
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。なお、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用は含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)	2.33%
1 当ファンドの費用の比率	1.69%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.64%

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(マザーファンドを除く)の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※投資先ファンドとは、インド株マザーファンドが組み入れている投資信託証券のことです。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.33%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
インド株マザーファンド	32,233	75,000	111,468	310,000
中国利回り株アルファ・マザーファンド	29,441	130,000	—	—

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

項 目	当 期
	中国利回り株アルファ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	656,290千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,776,886千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.36

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年10月15日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
インド株マザーファンド	501,399	422,163	1,244,959
中国利回り株アルファ・マザーファンド	246,140	275,581	1,235,268

※各親投資信託の期末の受益権総口数は以下の通りです。

インド株マザーファンド 594,577,953口 中国利回り株アルファ・マザーファンド 443,620,640口

■ 投資信託財産の構成

(2021年10月15日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
インド株マザーファンド	1,244,959	45.9
中国利回り株アルファ・マザーファンド	1,235,268	45.5
コール・ローン等、その他	233,720	8.6
投資信託財産総額	2,713,949	100.0

※インド株マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（1,716,623千円）の投資信託財産総額（1,893,437千円）に対する比率は90.7%です。

※中国利回り株アルファ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（1,987,721千円）の投資信託財産総額（1,988,477千円）に対する比率は100.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.89円、1香港・ドル=14.64円、1オフショア・人民元=17.704円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月15日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2, 713, 949, 383円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	93, 720, 713
インド株マザーファンド(評価額)	1, 244, 959, 981
中国利回り株アルファ・マザーファンド(評価額)	1, 235, 268, 689
未 収 入 金	140, 000, 000
(B) 負 債	160, 865, 641
未 払 収 益 分 配 金	134, 762, 741
未 払 解 約 金	4, 726, 247
未 払 信 託 報 酬	20, 856, 808
そ の 他 未 払 費 用	519, 845
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2, 553, 083, 742
元 本	2, 246, 045, 693
次 期 繰 越 損 益 金	307, 038, 049
(D) 受 益 権 総 口 数	2, 246, 045, 693口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C / D)	11, 367円

※当期における期首元本額2,234,107,664円、期中追加設定元本額201,263,088円、期中一部解約元本額189,325,059円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年4月16日 至2021年10月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 26, 491円
受 取 利 息	486
支 払 利 息	△ 26, 977
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	227, 460, 797
売 買 損 益	329, 564, 386
売 買 損 益	△102, 103, 589
(C) 信 託 報 酬 等	△ 21, 383, 073
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	206, 051, 233
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	17, 921, 195
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	217, 828, 362
(配 当 等 相 当 額)	(548, 128, 881)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△330, 300, 519)
(G) 合 計(D + E + F)	441, 800, 790
(H) 収 益 分 配 金	△134, 762, 741
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	307, 038, 049
追 加 信 託 差 損 益 金	217, 828, 362
(配 当 等 相 当 額)	(548, 310, 653)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△330, 482, 291)
分 配 準 備 積 立 金	89, 209, 687

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は1,052,798円です。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	14, 836, 750円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	191, 214, 483
(c) 収益調整金	548, 310, 653
(d) 分配準備積立金	17, 921, 195
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	772, 283, 081
1 万 口 当 り 当 期 分 配 対 象 額	3, 438. 41
(f) 分配金	134, 762, 741
1 万 口 当 り 分 配 金	600

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	600円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド株マザーファンド

第31期（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

信託期間	無期限（設定日：2006年4月28日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として「アムンディ・ファンズ・エスピーアイ・エフエム・インディア・エクイティ」に係る投資信託証券への投資を通じて、インドの取引所に上場している株式に投資し、信託財産の成長を目指した運用を行います。 ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ・運用にあたっては、アムンディ・ジャパン株式会社の投資助言を受けます。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数） MSCI インディア 10/40 インデックス		投資信託 証券組 比率	純資産額
	期騰落率	中率	（円ベース）	期騰落率		
27期（2019年10月15日）	円 18,701	% △ 5.5	190.47	% △ 9.3	% 97.7	百万円 1,868
28期（2020年4月15日）	14,600	△21.9	144.50	△24.1	95.3	1,437
29期（2020年10月15日）	18,927	29.6	194.83	34.8	99.3	1,839
30期（2021年4月15日）	22,944	21.2	238.72	22.5	97.3	1,638
31期（2021年10月15日）	29,490	28.5	318.47	33.4	97.9	1,753

※参考指数は、当報告書作成時に知れた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

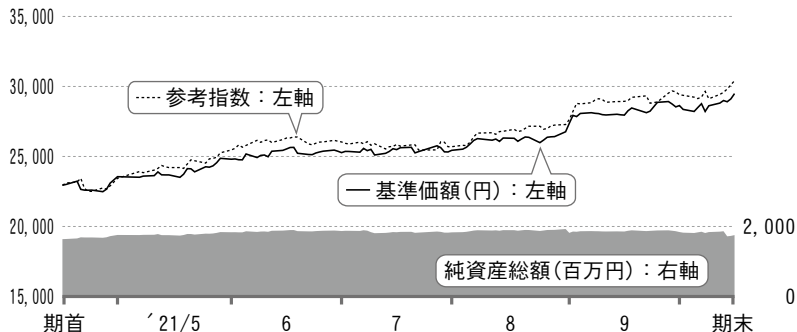
年月日	基準価額		（参考指数） MSCI インディア 10/40 インデックス		投資信託 証券組 比率
	騰落率	率	（円ベース）	騰落率	
（期首） 2021年4月15日	円 22,944	% —	238.72	% —	% 97.3
4月末	23,557	2.7	247.21	3.6	97.4
5月末	24,804	8.1	264.34	10.7	98.3
6月末	25,273	10.2	268.05	12.3	95.6
7月末	25,440	10.9	266.57	11.7	98.2
8月末	27,362	19.3	291.58	22.1	98.2
9月末	28,635	24.8	303.47	27.1	98.7
（期末） 2021年10月15日	29,490	28.5	318.47	33.4	97.9

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

基準価額等の推移



期首	22,944円
期末	29,490円
騰落率	+28.5%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCI インディア 10/40 インデックス（円ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの証券取引所に上場している株式に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- ・ 5月中旬以降、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少やワクチン接種ペースの改善を受け、経済正常化期待が強まり、インド株式市場が上昇したこと
- ・ インドルピーが円に対して上昇したこと

▶ 投資環境について（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

期間のインド株式市場は大きく上昇しました。また、インドルピーは円に対して上昇しました。

インド株式市場

期初は、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したことから軟調な展開となりました。その後、ロックダウン（都市封鎖）やワクチン接種の進展などを受け、新規感染者数が減少に転じたことなどから、上昇基調となりました。

インフレに関し、降雨量の減少や原油価格の上昇などから懸念が高まる局面があったものの、CPI（消費者物価指数）上昇率は政府目標の範囲内に落ち着きました。インフレ懸念は後退し、緩和的な金融政策の継続期待や経済・企業活動の正常化期待などから引き続き上昇しました。こうした動きの結果、期間のインド株式市場は、大幅上昇となりました。

為替市場

期間の米ドル・インドルピーの動きは、概ねレンジでの動きとなりました。米国のテーパリング（量的緩和の段階的縮小）など金融緩和策からの転換が想定される中、期末にかけては米ドル高・インドルピー安となりました。

米ドル・円の動きも概ね似たような動きとなりましたが、期末にかけて米ドル高・円安が進行し、期を通してみれば米ドル高・円安となりました。

結果として期間のインドルピー・円の動きは、インドルピー高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

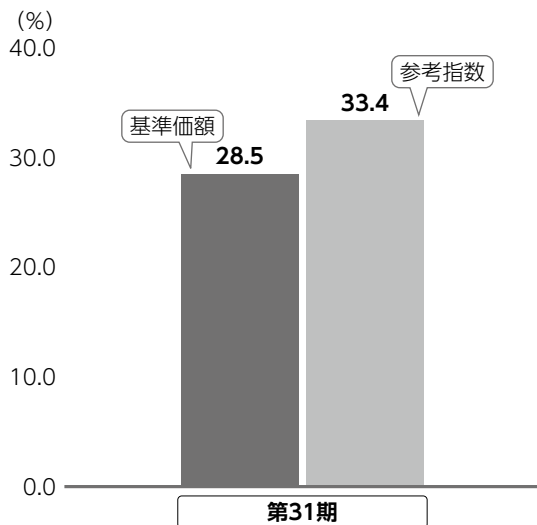
「アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インディア・エクイティ（Q1-6クラス）」を高位に組み入れた運用を行いました。

（アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インディア・エクイティ（Q1-6クラス））

投資行動としては個別銘柄選択の結果として、セクター別では金融、素材、資本財・サービス等のウェイトを引き上げる一方、一般消費財・サービス、情報技術、ヘルスケア等のウェイトを引き下げました。個別では、ケムプラスト・サンマー、ヒンダルコ・インダストリーズ、SRF、Vガード・インダストリーズ等を新規で組み入れる一方、マルチ・スズキ・インディア、クロンプトン・グリーンズ・コンシューマー・エレクトロカルズ、バーラト・フォージ、インフォ・エッジを売却しました。

▶ベンチマークとの差異について（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI インディア 10/40 インデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

「アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インドシア・エクイティ（Q1-6クラス）」を高位に組み入れた運用を行います。

（アムンディ・ファンズ・エスビーアイ・エフエム・インドシア・エクイティ（Q1-6クラス））

新興国株式は、インフレ懸念や米国のテーパリングなど金融政策の変更、中国のテクノロジー、不動産および電力セクターに関する問題などの要因を背景に、足元で苦戦しています。

一方で、インド株式は新興国株式を引き続きアウトパフォームし、その結果、バリュエーション（投資価値評価）で比較すると割高感が出てきています。インド株式市場がさらに上昇するためには、企業収益の回復が不可欠になっています。当ファンドでは、今後の企業収益の見通しに対して、楽観的な見方をしています。足元の状況は、経済の正常化に伴う収益の拡大サイクルの初期段階にあると考えており、長期的な見通しに対し引き続き前向きです。短期的なリスクは投資家心理が過熱しているようにみられることで、利益確定売りなどによる調整の可能性もありますが、その場合は景気敏感セクターなどを買い増しする好機であると考えています。

インド株マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	0円 (0) (0)	0.001% (0.001) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回数・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.001	

期中の平均基準価額は25,869円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

投資信託証券

外国	銘柄	銘柄名	買付		売付	
			口数	買付額	口数	売付額
アメリカ		アムンディ・ファンズ・エスピー・アイ・エフエム・インディア・エクイティ (Q1-6クラス)	574	千アメリカ・ドル 679	2,666	千アメリカ・ドル 3,649

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年10月15日現在)

外国投資信託証券

銘柄	銘柄名	期首(前期末)		期末		組入比率
		口数	口数	評価額	評価額	
(ルクセンブルグ)	アムンディ・ファンズ・エスピー・アイ・エフエム・インディア・エクイティ (Q1-6クラス)	12,442.087	10,350.739	15,072	1,716,623	97.9
小計	口数・金額	12,442.087	10,350.739	15,072	1,716,623	97.9
	銘柄数 <比率>	1銘柄	1銘柄		<97.9%>	
合計	口数・金額	12,442.087	10,350.739	-	1,716,623	97.9
	銘柄数 <比率>	1銘柄	1銘柄		<97.9%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

インド株マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2021年10月15日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	1,716,623	90.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	176,814	9.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,893,437	100.0

※期末における外貨建資産（1,716,623千円）の投資信託財産総額（1,893,437千円）に対する比率は90.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.89円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月15日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,893,437,553円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	176,814,286
投 資 証 券 (評価額)	1,716,623,267
(B) 負 債	140,000,069
未 払 解 約 金	140,000,000
そ の 他 未 払 費 用	69
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,753,437,484
元 本	594,577,953
次 期 繰 越 損 益 金	1,158,859,531
(D) 受 益 権 総 口 数	594,577,953口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	29,490円

※当期における期首元本額713,986,575円、期中追加設定元本額32,233,110円、期中一部解約元本額151,641,732円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

三井住友・インド・中国株オープン	422,163,439円
三井住友・アジア4大成長国オープン	172,414,514円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2021年4月16日 至2021年10月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 16,786円
受 取 利 息	25
支 払 利 息	△ 16,811
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	455,322,963
売 買 益	455,322,963
(C) そ の 他 費 用 等	△ 26,186
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	455,279,991
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	924,170,918
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 263,358,268
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	42,766,890
(H) 合 計 (D + E + F + G)	1,158,859,531
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,158,859,531

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	アムンディ・ファンズ・エスピーアイ・エフエム・インディア・エクイティ（Q I - 6 クラス）
形態	ルクセンブルグ籍会社型投資信託（米ドル建て）
主要投資対象	主としてインドで事業展開を行う企業の株式
運用の基本方針	長期的な信託財産の成長を目指して運用します。
決算日	年1回、原則6月30日に決算を行います。
分配方針	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。
運用管理費用	純資産総額に対して年0.8%以内* *上記のほか、ファンドの管理業務の一部や保管に要する費用がかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。 また、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	アムンディ・ホンコン・リミテッド
投資助言会社	SBIファンド・マネジメント（インド）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「アムンディ・ファンズ・エスピーアイ・エフエム・インディア・エクイティ（Q I - 6 クラス）」をシェアクラスとして含む「アムンディ・ファンズ・エスピーアイ・エフエム・インディア・エクイティ」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書 (2020年6月30日現在)

(単位：米ドル)

収益	20,740,884
受取配当金	19,689,890
受取利息	154,666
その他収益	896,328
費用	19,357,779
管理報酬	8,339,458
成功報酬	886,481
事務代行報酬	5,538,349
ルクセンブルク年次税	191,267
販売手数料	192,689
ブローカーおよび取引手数料	3,251,279
注文の受理と回送費用	949,294
支払利息およびその他費用	8,962
投資による純実現利益／(損失)	1,383,105
売却投資有価証券にかかる純実現利益／(損失)	-62,283,648
外国為替予約にかかる純実現純利益(損失)	-4,260
為替にかかる純実現利益／(損失)	-4,821,657
純実現利益／(損失)	-65,726,460
投資およびリバース・レボから生じる負債にかかる未実現評価益／(損)の純変動	-213,371,615
運用結果	-279,098,075
支払分配金	-688
追加信託	836,586,732
一部解約	-855,961,502
純資産の増加／(減少)	-298,473,533
期首純資産	1,513,762,331
期末純資産	1,215,288,798

インド株マザーファンド

■ 投資有価証券明細表 (2020年6月30日現在)

数量		時価 (単位：米ドル)	純資産額に 占める比率 (%)
	公的な証券取引所に上場しているか、またはその他の規制のある市場で取引されている 譲渡可能な有価証券	1,145,376,208	94.25
	株式	1,145,376,208	94.25
	自動車・自動車部品	27,280,618	2.24
28,653	BALKRISHNA INDUSTRIES LTD	478,576	0.04
2,643,000	CUMMINS INDIA DS	13,734,173	1.12
169,000	MARUTI SUZUKI SHS	13,067,869	1.08
	銀行	242,530,699	19.95
6,649,000	AXIS BANK	35,810,367	2.95
7,039,335	BANDHAN BANK LTD	29,768,861	2.45
4,440,000	HDFC BANK LTD	62,677,365	5.15
7,499,000	ICICI BANK LTD	34,905,878	2.87
1,737,000	KOTAK MAHINDRA BANK LTD	31,297,819	2.58
20,339,000	STATE BANK OF INDIA	48,070,409	3.95
	建設・資材	110,427,004	9.09
4,929,000	LARSEN & TOUBRO LTD	61,602,939	5.07
12,131	RAMCO CEMENTS	102,040	0.01
159,589	SHREE CEMENT	48,722,025	4.01
	電子・電気機器	25,150,259	2.07
7,957,000	CROMPTON CREAVES CONSUMER ELECTRICALS LTD	25,150,259	2.07
	工業エンジニアリング	29,616,719	2.44
2,376,000	ABB LTD	29,616,719	2.44
	工業用運輸業	22,097,207	1.82
91,000	EICHER MOTORS LTD	22,097,207	1.82
	投資銀行業・ブローカーサービス	100,095,895	8.24
1,226,000	BAJAJ FINANCE LTD	45,968,677	3.78
3,763,000	MUTHOOT FINANCE	54,127,218	4.46
	石油・ガス・石炭	103,463,170	8.51
8,000,000	BHARAT PETROLEUM CORPORATION LIMITED	39,627,188	3.26
22,941,371	INDIAN OIL CORPORATION	25,933,107	2.13
3,588,024	RELIANCE INDUSTRIES LTD INR (ISIN IN9002A01024)	37,902,875	3.12
	パーソナルケア製品・ドラッグストア・食料品店	15,889,441	1.31
118,179	PROCTER & GAMBLE HYGIENE & HEALTH CARE LTD	15,889,441	1.31
	パーソナル用品	41,425,867	3.41
157,061	PAGE INDUSTRIES LTD	41,425,867	3.41

インド株マザーファンド

数量		時価 (単位：米ドル)	純資産額に 占める比率 (%)
	医薬品・バイオテクノロジー	137,146,859	11.29
3,063,000	CIPLA LTD	25,973,367	2.14
1,963,000	DIVI' S LABS	59,248,482	4.88
4,247,000	SUN PHARMACEUTICAL INDUSTRIES	26,602,911	2.19
806,000	TORRENT PHARMACEUTICAL	25,322,099	2.08
	ソフトウェア・コンピュータサービス	164,338,121	13.52
6,386,310	HCL TECHNOLOGIES LTD	47,099,889	3.88
6,245,000	INFOSYS TECHNOLOGIES	60,871,278	5.00
2,044,000	TATA CONSULTANCY SERVICES	56,366,954	4.64
	通信機器	87,376,789	7.19
11,784,000	BHARTI AIRTEL LTD	87,376,789	7.19
	タバコ	23,122,250	1.90
8,969,000	ITC LTD	23,122,250	1.90
	旅行・レジャー	15,415,310	1.27
14,567,124	INDIAN HOTELS CO LTD	15,415,310	1.27
投資有価証券明細合計		1,145,376,208	94.25

中国利回り株アルファ・マザーファンド

第31期（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

信託期間	無期限（設定日：2006年4月28日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として中国の取引所（上海、深センおよび香港等）に上場している株式を対象として、利回り株による安定的な分配とリーディングカンパニー等の成長性に着目した投資により、信託財産の成長を目指した運用を行います。 ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIチャイナインデックス (円ベース)		株式組入率 比	投資信託 証券組入率 比	純資産額 総
	円	%	騰落率	騰落率			
27期（2019年10月15日）	33,234	△ 6.3	193.16	△14.0	94.5	3.0	百万円 1,975
28期（2020年4月15日）	32,803	△ 1.3	198.57	2.8	93.5	2.8	1,771
29期（2020年10月15日）	42,274	28.9	253.41	27.6	96.4	1.3	2,075
30期（2021年4月15日）	48,811	15.5	276.58	9.1	93.9	3.1	2,072
31期（2021年10月15日）	44,824	△ 8.2	242.71	△12.2	87.3	3.5	1,988

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIチャイナインデックス (円ベース)		株式組入率 比	投資信託 証券組入率 比
	円	%	騰落率	騰落率		
(期首) 2021年4月15日	48,811	—	276.58	—	93.9	3.1
4月末	49,964	2.4	281.98	2.0	93.3	3.0
5月末	49,928	2.3	277.36	0.3	93.5	3.5
6月末	50,314	3.1	283.78	2.6	92.4	3.6
7月末	44,305	△ 9.2	244.07	△11.8	86.6	4.1
8月末	42,952	△12.0	234.91	△15.1	81.9	3.9
9月末	43,195	△11.5	232.35	△16.0	86.0	3.4
(期末) 2021年10月15日	44,824	△ 8.2	242.71	△12.2	87.3	3.5

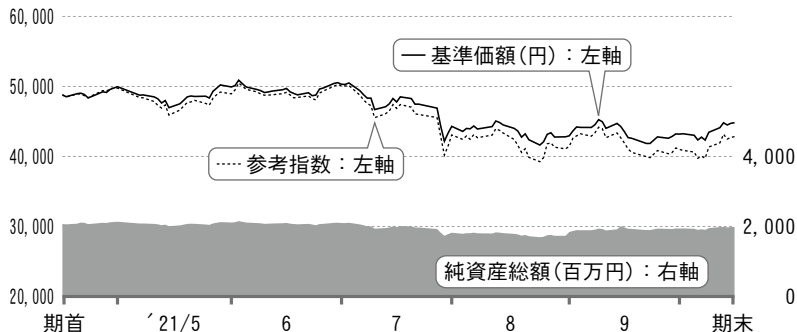
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

基準価額等の推移



期首	48,811円
期末	44,824円
騰落率	-8.2%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCIチャイナインデックス（円ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

当ファンドは、主として中国の取引所（上海、深センおよび香港等）に上場している株式を対象として、利回り株による安定的な分配とリーディングカンパニー等の成長性に着目して投資を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月下旬から期末にかけて香港ドル高・円安が進んだこと
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月に入り、中国当局による配車サービス大手や学習塾業界に対する規制強化などをきっかけに、幅広い分野で政府介入が強まることへの警戒感が高まり、香港株式市場が下落したこと ・ 9月以降、不動産開発大手の債務問題や金融システムに対する不安、電力の供給制限による企業活動落ち込みへの懸念などから、香港株式市場が軟調となったこと

▶ 投資環境について（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

香港株式市場は下落しました。また、為替市場は香港ドル高・円安となりました。

香港株式市場

香港株式市場は、期初から6月までは一定のレンジ内で一進一退の値動きとなりました。しかし、7月に入り、中国当局が配車サービス大手D i D i（滴滴出行）に対し国家安全上の理由で審査を始めたことや、学習塾業界に対する規制強化が発表されたことをきっかけに、幅広い分野で政府介入が強まることへの警戒感が高まり、市場は下落しました。

また、9月以降は、不動産開発大手「中国恒大集団（エバーグランデ）」の債務問題に端を発する不動産市場全般や金融システムに対する不安、電力の供給制限による企業活動への悪影響など複数の悪材料が重なり、投資家のリスク回避姿勢が強まりました。

為替市場

米ドル・円は、通期では米ドル高・円安となりました。期初から9月中旬までは、1米ドル＝110円近辺での落ち着いた推移となりました。しかし、9月下旬以降は、原油など商品価格の上昇を背景とした米国金利の上昇や、日本の貿易収支の悪化観測などから期末にかけて米ドル高・円安が進みました。

香港ドル・円は概ね米ドル・円に沿った動きとなり、通期では香港ドル高・円安となりました。

▶ ポートフォリオについて（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期間を通じて概ね高位の水準を維持しました。

個別銘柄

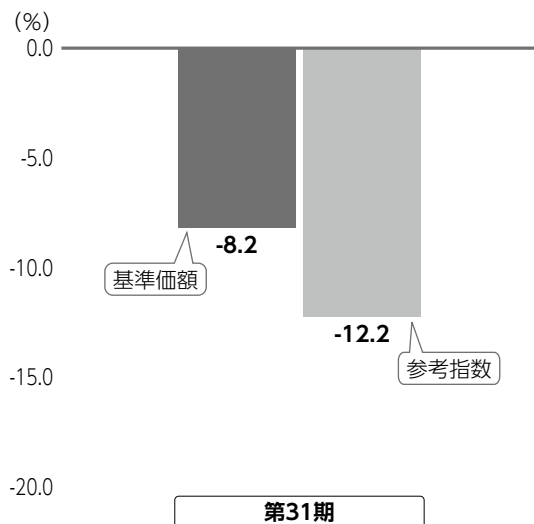
引き続き、配当利回りや成長性、流動性等を考慮した運用を行いました。

期間中は、規制強化による事業継続リスクの高まりを受けて、新東方教育科技（消費者サービス）やアリババ・グループ・ホールディング（小売）、カントリー・ガーデン・サービス（不動産）などを売却する一方で、メルセデスベンツやレクサス、BMWなど高級車の販売を中心に業

績堅調なチョンサン・グループ・ホールディングス（小売）を新たに組み入れました。また、ITベンダー大手でクラウドコンピューティングやネットワークセキュリティ分野に強みを持つ深信服（ソフトウェア・サービス）の新規組入れも行いました。

▶ベンチマークとの差異について（2021年4月16日から2021年10月15日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIチャイナインデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

中国では電力の供給制限の影響などもあり、経済活動が短期的に鈍化している一方、新型コロナ対策は徹底されており、引き続き中期的には社会・経済活動の正常化が見込まれます。中国企業の業績はこれまで急回復を見せた後、足下では下方修正も増えており、株式市場は短期的に上値の重い動きとなりそうです。しかしながら今後半年から1年といった時間軸で見れば、企業業績の増益は維持されると予想しており、それに沿った株価の上昇を見込みます。

今後の運用方針としましては、引き続き、配当利回りや成長性、流動性等を考慮しつつ、厳選投資する方針です。

中国利回り株アルファ・マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託証券)	35円 (34) (1)	0.075% (0.074) (0.001)	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投資信託証券)	13 (13) (0)	0.029 (0.029) (0.000)	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	23 (23) (0)	0.050 (0.050) (0.000)	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	72	0.154	

期中の平均基準価額は46,448円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 84	千アメリカ・ドル 559	百株 283	千アメリカ・ドル 182
	香 港	百株 1,468 (31.6)	千香港・ドル 8,658 (△ 17)	百株 2,271	千香港・ドル 21,314
	中 国	百株 543.8 (40)	千オフショア・人民元 7,889 ()	百株 260	千オフショア・人民元 871

※金額は受渡し代金。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

(2) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	香 港 LINK REIT	口 9,000	千香港・ドル 664	口 -	千香港・ドル -

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	656,290千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,776,886千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.36

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年4月16日から2021年10月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年4月16日から2021年10月15日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年10月15日現在)

(1) 外国株式

銘 柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価	額	
	株 数	株 数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	263	—	—	—	消費者サービス
BAIDU INC - SPON ADR	27	27	439	50,030	メディア・娯楽
YUM CHINA HOLDINGS INC	44	89	530	60,371	消費者サービス
JD.COM INC-ADR	88	127	1,029	117,202	小売
HUAZHU GROUP LTD-ADR	44	44	214	24,439	消費者サービス
BILIBILI INC-SPONSORED ADR	18	18	125	14,251	メディア・娯楽
GDS HOLDINGS LTD-ADR	20	—	—	—	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 : 504 銘 柄 数 <比 率> : 7銘柄	305 5銘柄	2,338	266,295 <13.4%>	
(香港)			千香港・ドル		
SINO BIOPHARMACEUTICAL	3,500	3,500	2,065	30,231	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHINA MERCHANTS PORT HOLDING	2,460	2,460	3,207	46,962	運輸
CHINA RESOURCES BEER HOLDING	306.66	306.66	1,793	26,263	食品・飲料・タバコ
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	111	45	2,079	30,449	各種金融
SHENZHEN EXPRESSWAY CO-H	4,400	5,000	3,750	54,900	運輸
TENCENT HOLDINGS LTD	175	175	8,456	123,795	メディア・娯楽
COUNTRY GARDEN SERVICES HOLD	620	—	—	—	不動産
MEITUAN-CLASS B	245	190	5,111	74,825	小売
ZHONGSHENG GROUP HOLDINGS	—	180	1,147	16,799	小売
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	350	—	—	—	小売
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	265	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	350	660	2,871	42,031	素材
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	3,409.6	3,409.6	1,871	27,404	銀行

中国利回り株アルファ・マザーファンド

銘	柄	期首(前期末)		期		末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		組 入 比 率		
				外貨建金額	邦貨換算金額			
NETEASE INC		175	480	7,142	104,564	メディア・娯楽		
KUAISHOU TECHNOLOGY		79	79	653	9,570	メディア・娯楽		
WUXI APPTCC CO LTD-H		158	104.6	1,739	25,466	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		
CHINA RESOURCES LAND LTD		280	—	—	—	不動産		
AIA GROUP LTD		526	526	4,602	67,380	保険		
SITC INTERNATIONAL HOLDINGS		970	570	1,350	19,777	運輸		
IND & COMM BK OF CHINA-H		4,863.95	4,863.95	2,125	31,117	銀行		
TECHTRONIC INDUSTRIES CO LTD		140	140	2,080	30,457	資本財		
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP		245	318	5,059	74,069	耐久消費財・アパレル		
PING AN INSURANCE GROUP CO-H		625	625	3,546	51,926	保険		
CHINA MENGNIU DAIRY CO		530	530	2,443	35,769	食品・飲料・タバコ		
LI NING CO LTD		350	200	1,626	23,804	耐久消費財・アパレル		
ENN ENERGY HOLDINGS LTD		350	350	4,074	59,643	公益事業		
NINE DRAGONS PAPER HOLDINGS		2,540	2,540	2,425	35,512	素材		
CHINA MERCHANTS BANK-H		350	350	2,212	32,383	銀行		
CITIC SECURITIES CO LTD-H		875	875	1,615	23,647	各種金融		
LONGFOR GROUP HOLDINGS LTD		700	700	2,457	35,970	不動産		
BOC AVIATION LTD		350	350	2,383	34,894	資本財		
小 計	株 数 銘 柄 数	30,299.21 <比率>	29,527.81 27銘柄	79,892 —	1,169,619 <58.8%>			
(中国)				千オフショア・人民元				
MIDEA GROUP CO LTD-A		300	455	3,190	56,492	耐久消費財・アパレル		
CHINA TOURISM GROUP DUTY F-A		60	146	3,987	70,588	小売		
YONYOU NETWORK TECHNOLOGY-A		260	—	—	—	ソフトウェア・サービス		
KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A		20	30	5,733	101,498	食品・飲料・タバコ		
JIANGSU HENGRUI MEDICINE C-A		200	462.8	2,363	41,836	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		
SANGFOR TECHNOLOGIES INC-A		—	70	1,639	29,031	ソフトウェア・サービス		
小 計	株 数 銘 柄 数	840 <比率>	1,163.8 5銘柄	16,913 —	299,447 <15.1%>			
合 計	株 数 銘 柄 数	31,643.21 <比率>	30,996.61 42銘柄	— 37銘柄	1,735,361 <87.3%>			

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

(2) 外国投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		期		末		組 入 比 率
		口 数	口 数	評 価 額		組 入 比 率		
				外貨建金額	邦貨換算金額			
(香港)				千香港・ドル	千円			
LINK REIT		61,300	70,300	4,727	69,213	3.5		
小 計	口 数 銘 柄 数	61,300 <比率>	70,300 1銘柄	4,727 —	69,213 <3.5%>	3.5		
合 計	口 数 銘 柄 数	61,300 <比率>	70,300 1銘柄	— 1銘柄	69,213 <3.5%>	3.5		

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

中国利回り株アルファ・マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2021年10月15日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
株 式	1,735,361	87.3
投 資 証 券	69,213	3.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	183,902	9.2
投 資 信 託 財 産 総 額	1,988,477	100.0

※期末における外貨建資産（1,987,721千円）の投資信託財産総額（1,988,477千円）に対する比率は100.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.89円、1香港・ドル=14.64円、1オフショア・人民元=17.704円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月15日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,988,477,972円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	182,097,973
株 式(評価額)	1,735,361,924
投 資 証 券(評価額)	69,213,162
未 収 配 当 金	1,804,913
(B) 純 資 産 総 額(A)	1,988,477,972
元 本	443,620,640
次 期 繰 越 損 益 金	1,544,857,332
(C) 受 益 権 総 口 数	443,620,640口
1万口当たり基準価額(B/C)	44,824円

※当期における期首元本額424,667,088円、期中追加設定元本額54,002,609円、期中一部解約元本額35,049,057円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

三井住友・インド・中国株オープン	275,581,985円
三井住友・中国A株・香港株オープン	168,038,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

・当マザーファンドは弊社による自社運用を行ってまいりましたが、更なる運用力の強化を図るため、弊社の香港現地法人であるスミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（ホンコン）リミテッドへの運用委託の形式に変更することとし、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2021年7月13日)

■ 損益の状況

(自2021年4月16日 至2021年10月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	28,163,100円
受 取 配 当 金	28,138,677
そ の 他 収 益	38,087
支 払 利 息	△ 13,664
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 189,511,124
売 買 益 損	142,803,401
売 買 損 益	△ 332,314,525
(C) そ の 他 費 用 等	△ 1,004,564
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 162,352,588
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,648,163,472
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 126,950,943
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	185,997,391
(H) 合 計(D+E+F+G)	1,544,857,332
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,544,857,332

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。